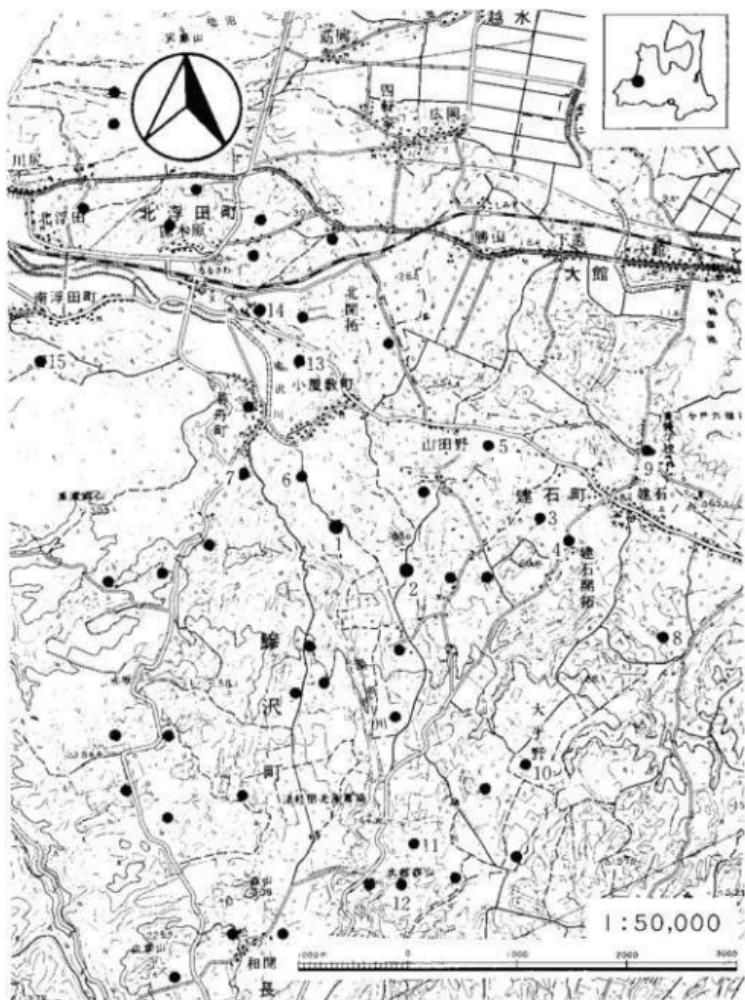


青森県埋蔵文化財調査報告書 第175集

湯舟(1)・(2)遺跡

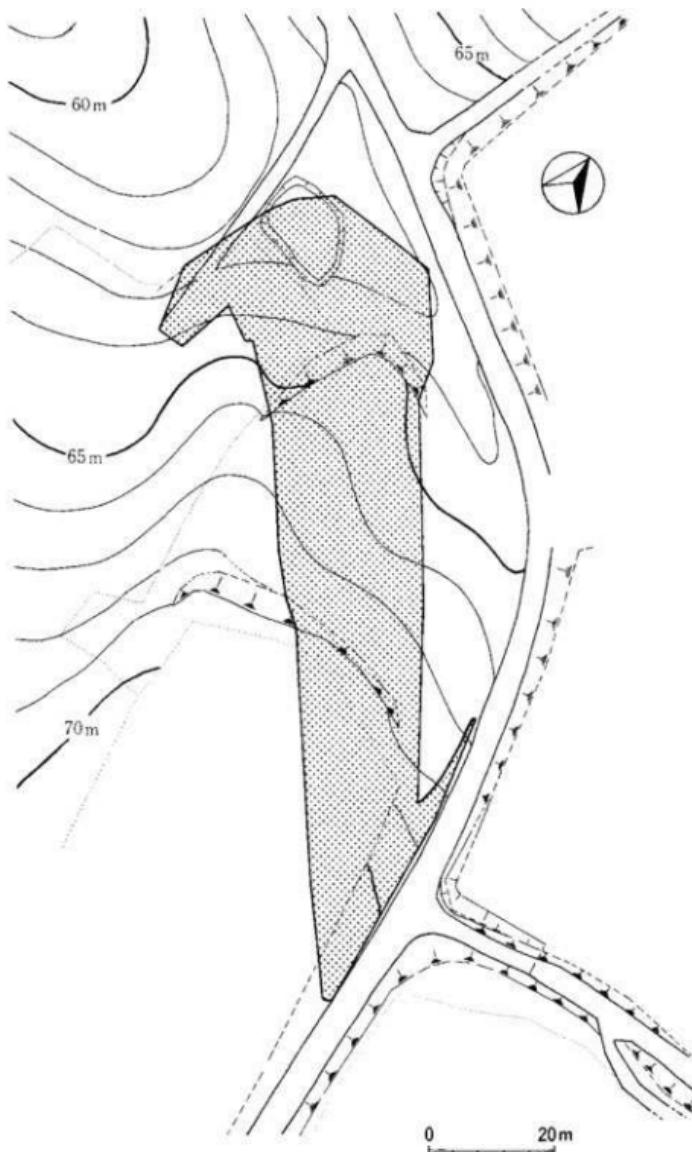
平成 6 年度

青森県教育委員会

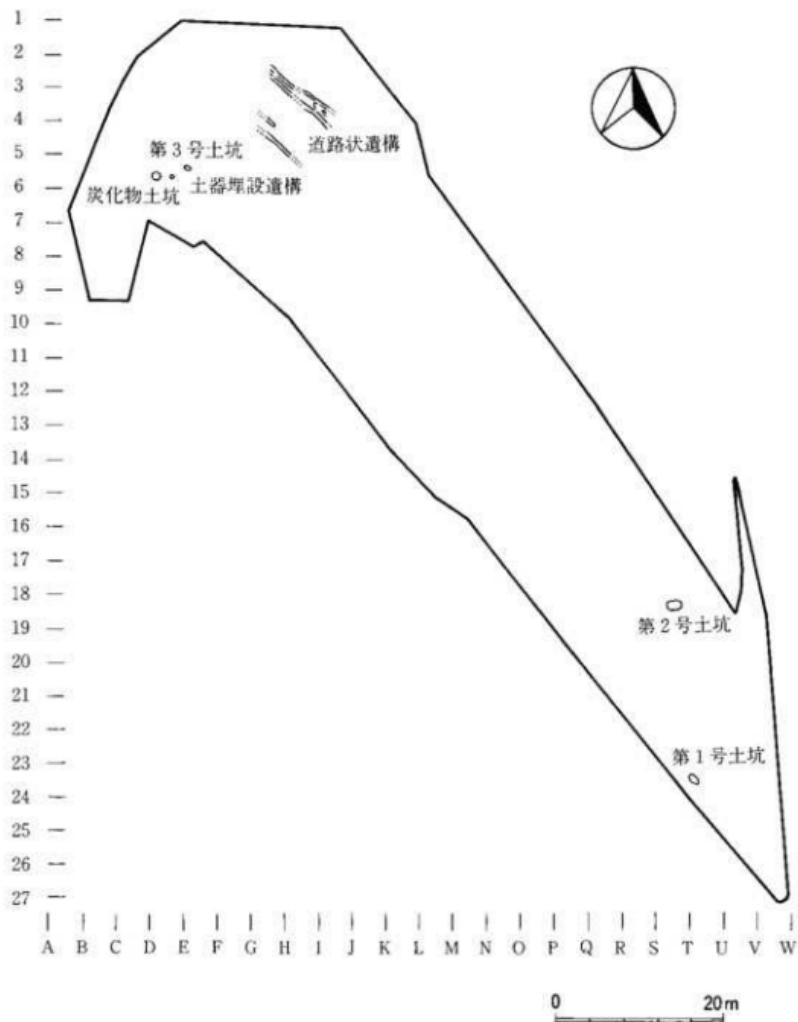


番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代
1	湯舟(1)遺跡	縄文(前・後)	6	金武遺跡	縄文(前一後), 平安	11	大平野遺跡	縄文(晩)
2	湯舟(2)遺跡	縄文(中・後)	7	七尾遺跡	縄文(後)	12	大新森山遺跡	平安
3	大曲遺跡	縄文(後)	8	餅ノ沢遺跡	縄文(中・後)	13	浮城貝塚	縄文(中・後), 平安
4	鳴沢遺跡	縄文(前)	9	鶴喰(9)遺跡	縄文	14	外馬屋遺跡	平安
5	建石(1)遺跡	縄文(中・後)	10	大平(5)遺跡	縄文	15	長平館跡	中世

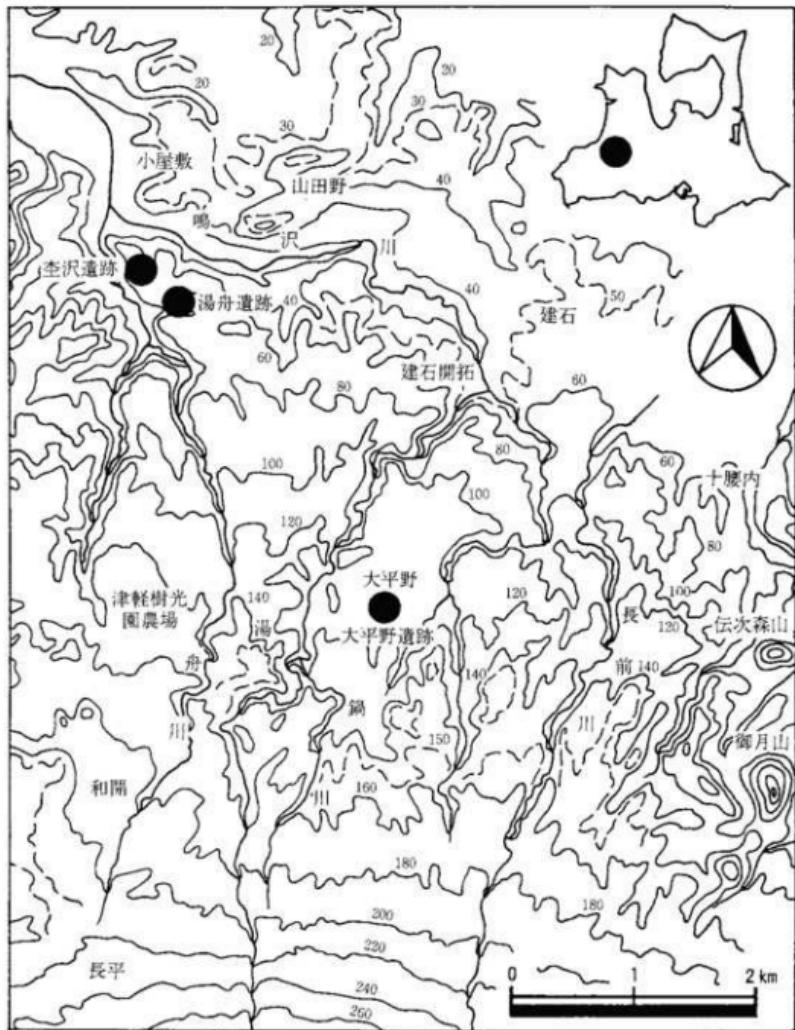
第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡



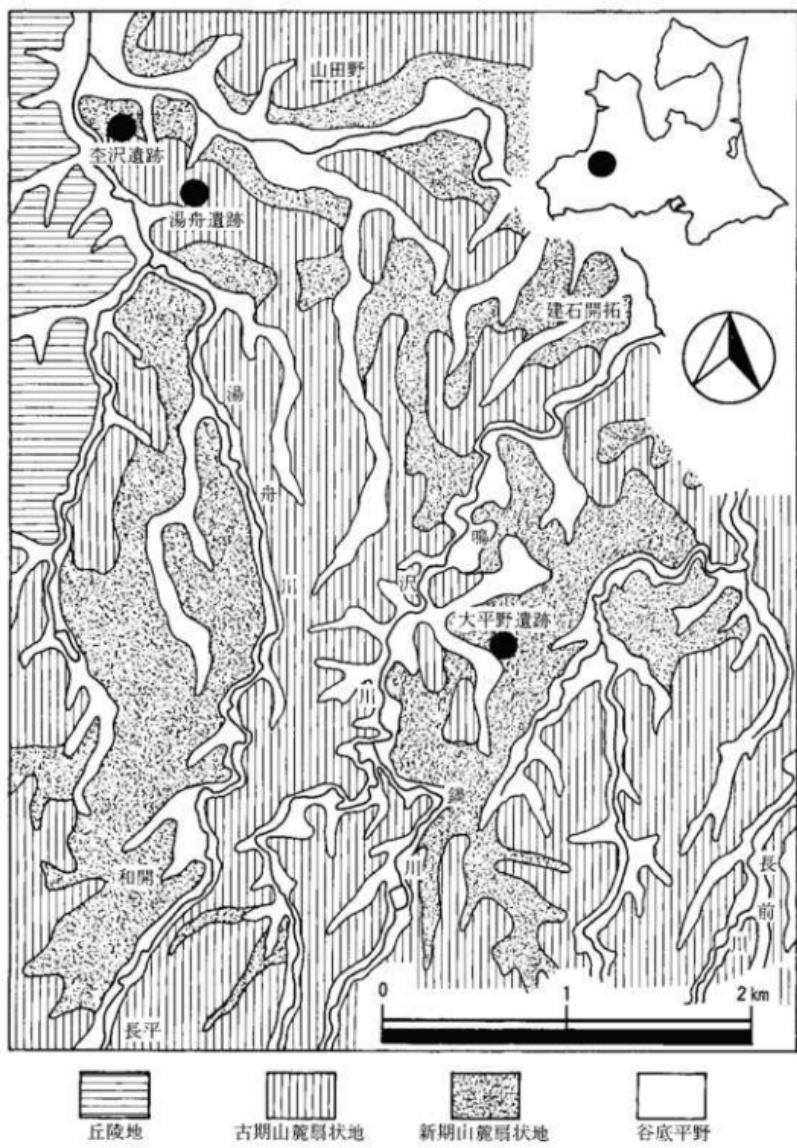
第2図 湯舟(1)遺跡地形図



第3図 湯舟(1)遺跡遺構配置図



第4図 遺跡周辺の等高線図



第5図 遺跡周辺の地形分類図

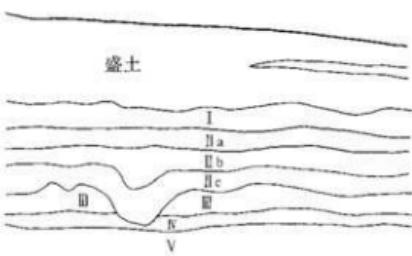
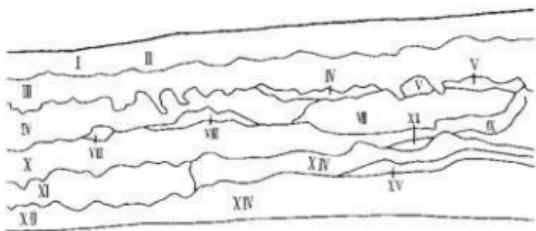
て、丘陵地の稜線部に立地している。西方には北流する湯舟川があつて、両岸には約40mの比高差のある急崖が認められる。なお、この丘陵地は上述のように開析された古期の山麓扇状地であつて、遺跡付近はかなり起伏に富んだ地形となっている。この扇状地面に谷頭をもつ小谷の流域には、湯舟(1)遺跡の調査区域北端にみられるように小規模ながら新期山麓扇状地相当面が展開している。

次に、調査区域内の基本層序について記述する(図6)。

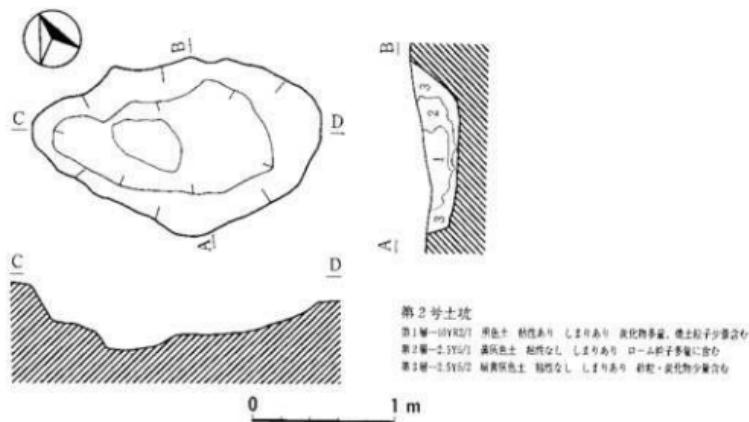
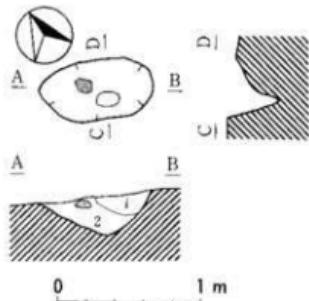
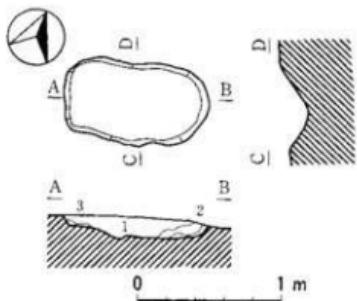
- I層 黒褐色土(厚さ10cm) 耕作土であつて、かたさはあるが締まりに欠け脆い。湯舟(1)遺跡の調査区域北端部に位置する傾斜地においては、本層上位にロームブロックからなる人為的な盛り土が約2mの厚さで確認できた。全般的にみて、本層は下位層を含めた人為的な擾乱層であつて、ロームブロックなどの混入物が多い。
- II層 黒色腐植質土(10~20cm) 摆乱により局部的に分布するのみである。粘性及び湿性があり、かたくやや締まっている。
- III層 暗褐色土(10~30cm) 粘性及び湿性があり、かたく締まっている。浮石・ロームの粒子及びブロックの混入状況によりIII a層とIII b層とに区分できる。上部のIII a層は粒子状の混入が目立ち、やや黒褐色気味で色調が暗い。下部のIII b層はブロック状の混入が目立ち、上部より色調が明るくローム質となっている。
- IV層 明黄褐色ラビリ質浮石(約20cm) 繊密堅固である。上部火山灰層に相当する。
- V層 淡灰褐色ローム(10~15cm) IV層直下に堆積する暗色帶であつて非常にかたく締まっている。クラックの発達がみられる。本層以下については基本的には中部火山灰層に相当する赤褐色ハードロームが堆積する。ただ、本遺跡東方の三角点(標高88.0m)付近の露頭にて確認したところでは、ローム層中の暗色帶には亜角礫~亜円礫(安山岩・シルト岩などで、最大で拳大の大きさ)が含まれ、多少砂混じりの粘土質ロームに変化していることから、ローム層の堆積間隙時にも土石流などが繰り返し発生していたものと思われる。

参考・引用文献

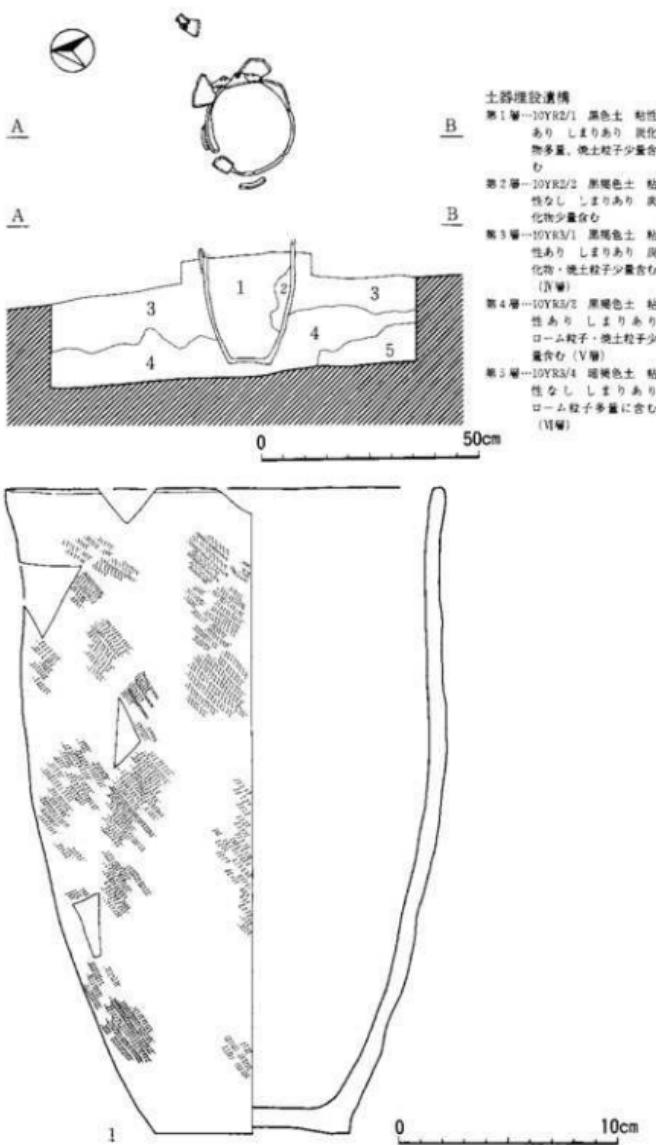
- 大沢 稔 1961 5万分の1地質図幅「弘前」(青森第一28号)同説明書 地質調査所
一色直記・大沢 稔 1967 岩木火山北東麓の泥流丘群 火山, Vol. 2, No12-3
- 中川 久夫 1972 青森県の第四系 青森県の地質 青森県
- 鈴木 隆介 1972 岩木山の変位 地理学評論45号
- 青森県教育委員会 1989 壱沢遺跡 県埋文報第130号
- 弘前市教育委員会 1991 砂沢遺跡発掘調査報告書—本文編—
- 青森県教育委員会 1992 鳴沢遺跡・鶴喰(9)遺跡 県埋文報第142号



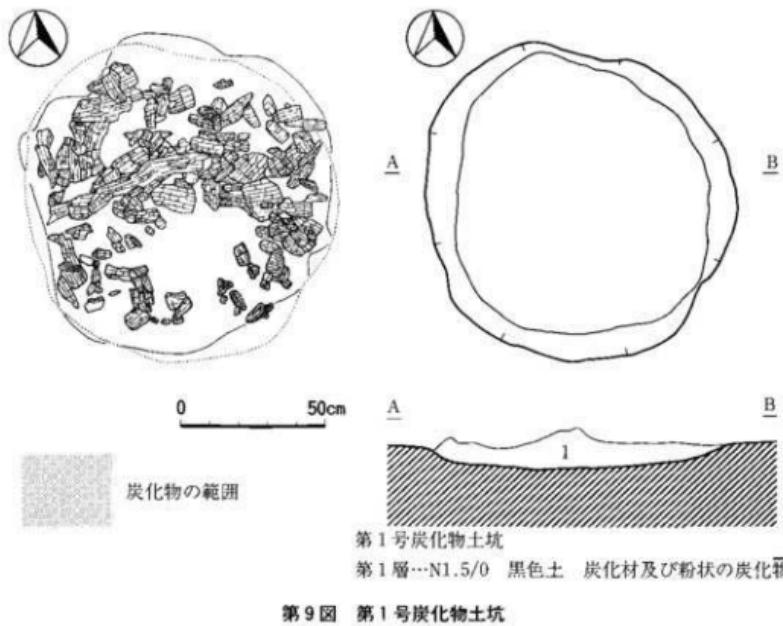
第6図 湯舟遺跡基本土層図



第7図 第1・2・3号土坑



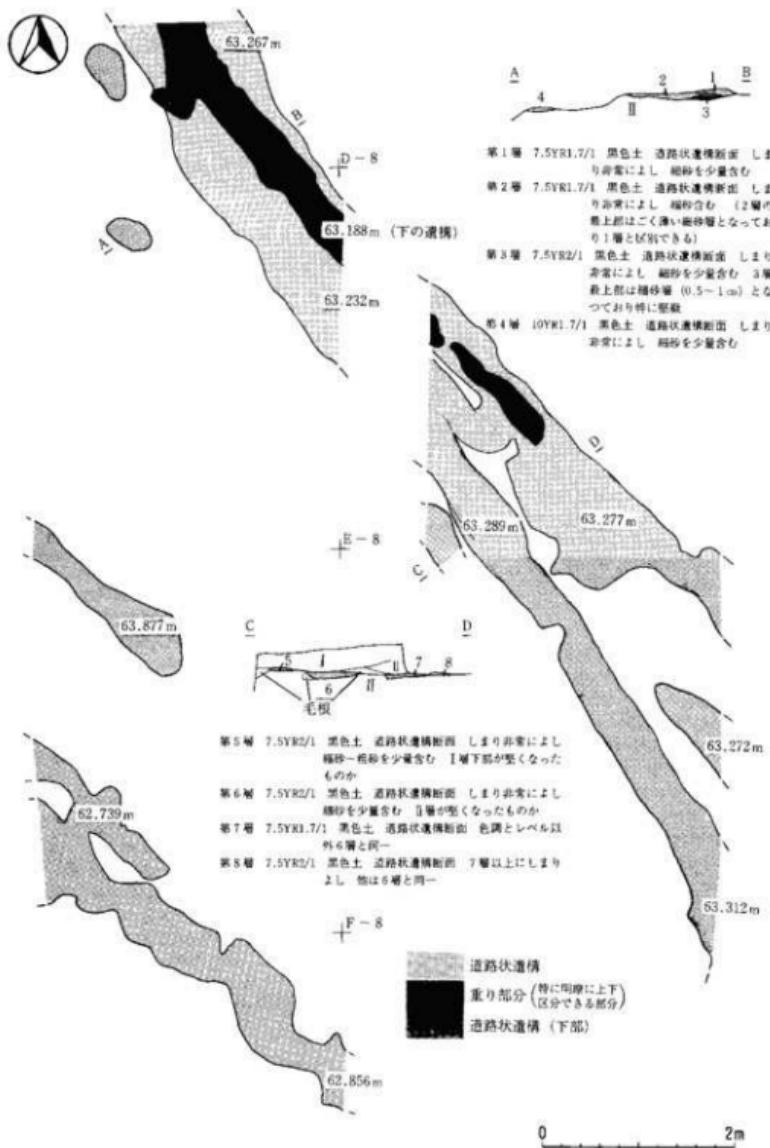
第8図 土器埋設遺構



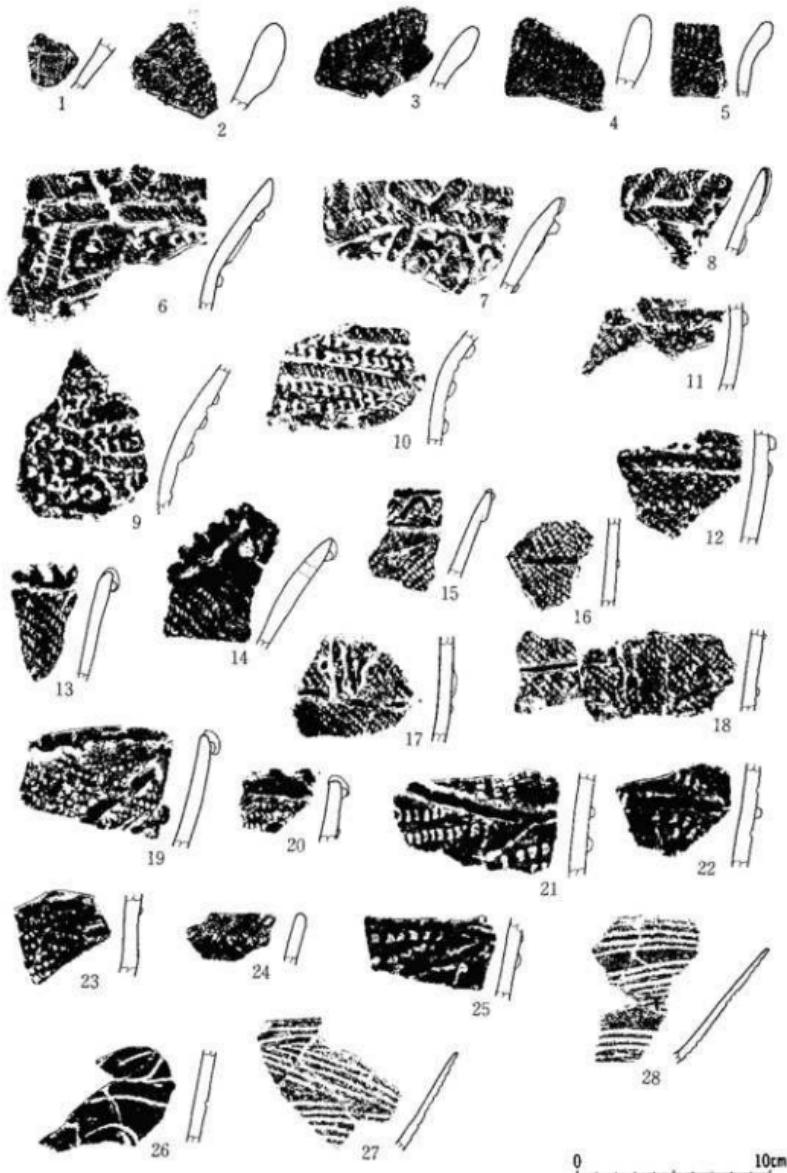
第9図 第1号炭化物土坑

第1層…N1.5/0 黒色土 炭化材及び粉状の炭化物

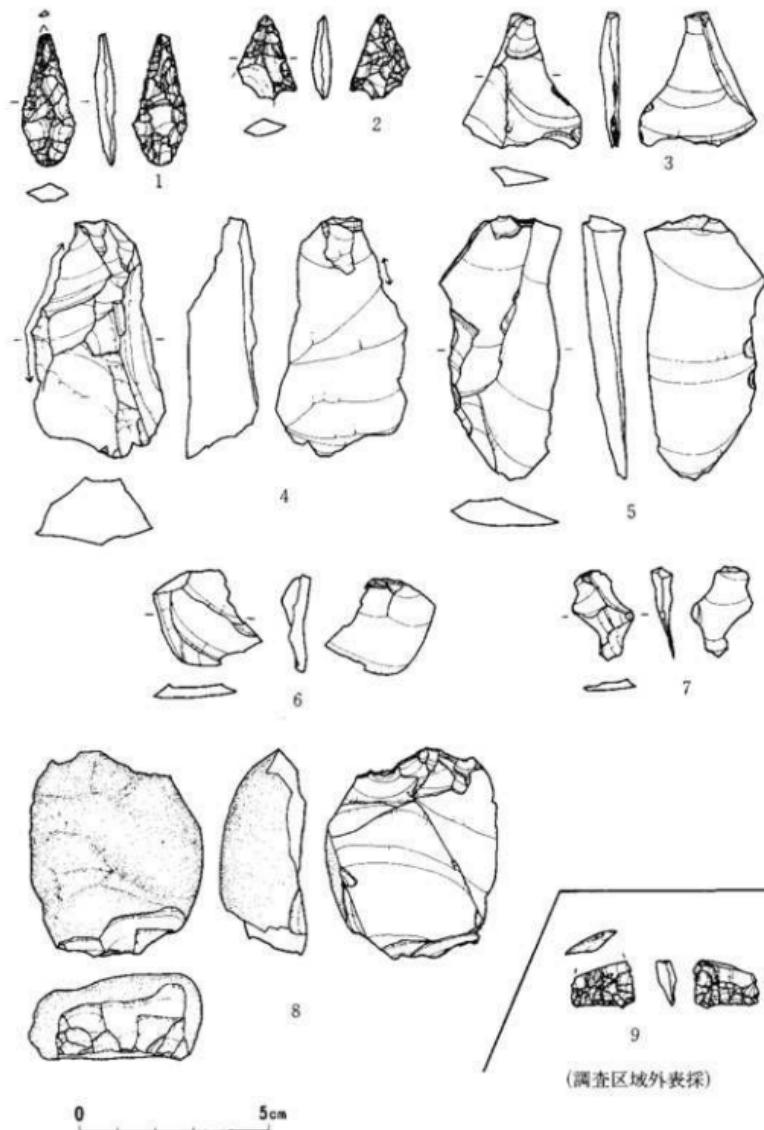
— 19 —



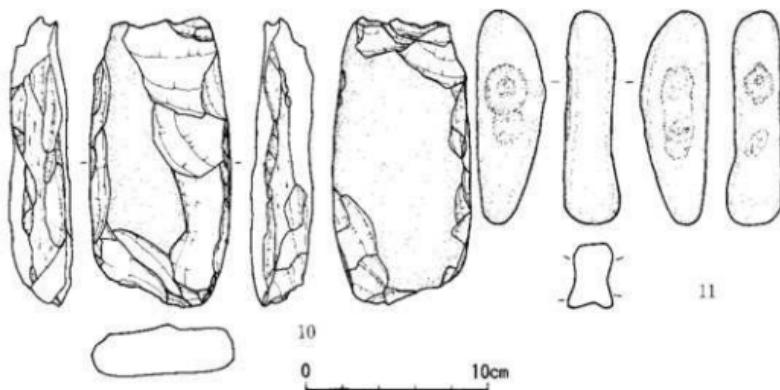
第10図 道路状遺構



第11図 遺構外出土遺物土器



第12図 通横外出土遺物 石器(1)



第13図 遺構外出土遺物 石器(2)

番号	分類	出土地点	層位	大きさ (cm)	重量 (g)	石質	備考
1	石 鐵	G-4	II	(3.6)×1.4×0.5	(1.9)	珪質頁岩	
2	タ	D-4	II	(2.3)×(1.6)×0.5	(1.3)	タ	
3	二次加工のある剥片	G-4	I～II	3.7×3.2×0.6	4.1	タ	
4	微細な剥離痕のある剥片	E-10	I～III	6.4×3.5×1.9	34.8	流紋岩	
5	剥 片	3 T		7.1×3.3×1.1	15.7	玉髓質 珪質頁岩	
6	タ	G-3	I～II	2.6×2.9×0.7	2.9	珪質頁岩	
7	タ	2 T		2.4×1.6×0.6	0.9	タ	
8	石 核	E-7	I	5.5×4.5×2.3	68.1	タ	礫器の可能性有
9	石 鐵	調査区外	表採	1.3×1.7×0.4	0.8	黒曜石	
10	半円状偏平打 製石器	E-7	I	15.8×7.7×3.3	509.0	凝灰岩	
11	凹 石			11.8×3.7×3.0	129.5	泥 岩	

第1表 石器観察表

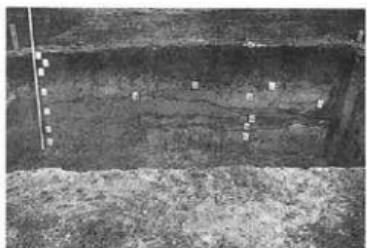
写 真 図 版



湯舟(1)遺跡近景



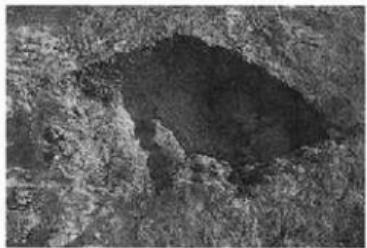
湯舟(2)遺跡近景



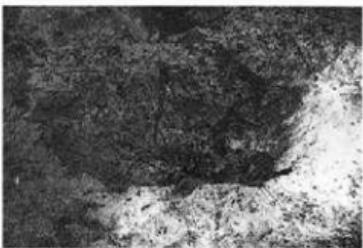
湯舟(1)遺跡基本層序



湯舟(1)第1号土坑



湯舟(1)第2号土坑



湯舟(1)第3号土坑

圖版 1



湯舟(1)土器埋設遺構確認



湯舟(1)土器埋設遺構



湯舟(1)炭化物土坑



湯舟(1)道路状遺構

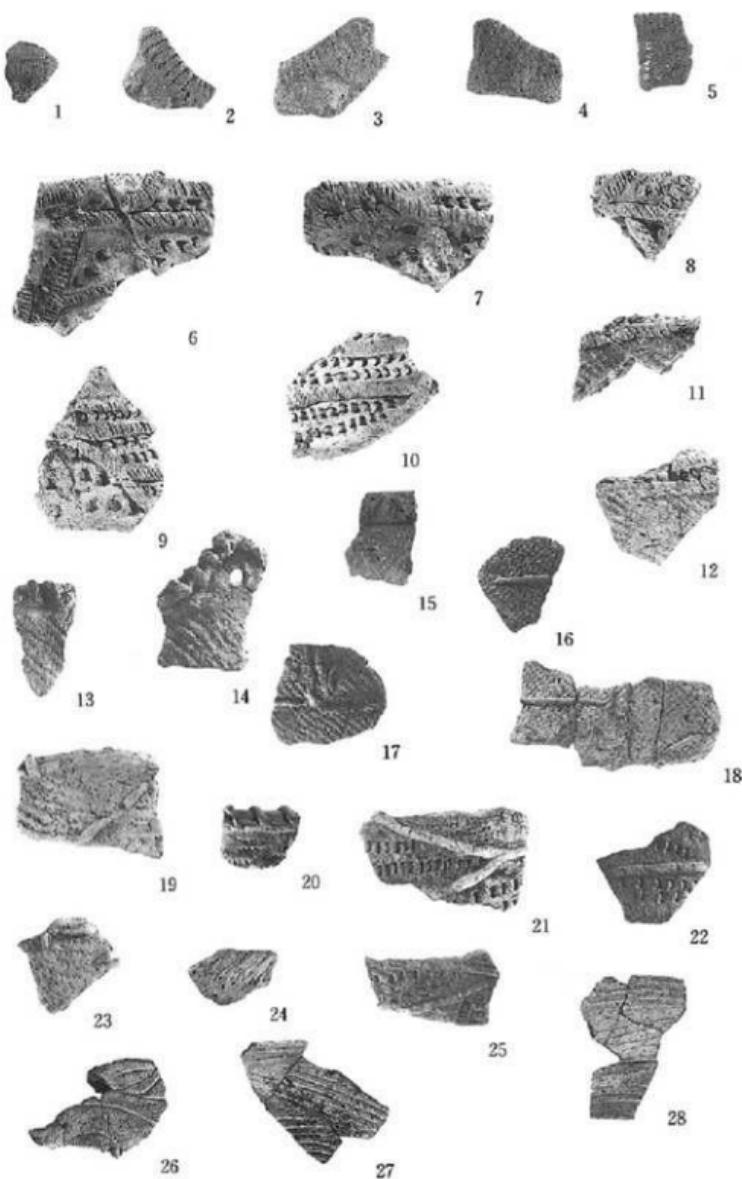


湯舟(1)道路状遺構

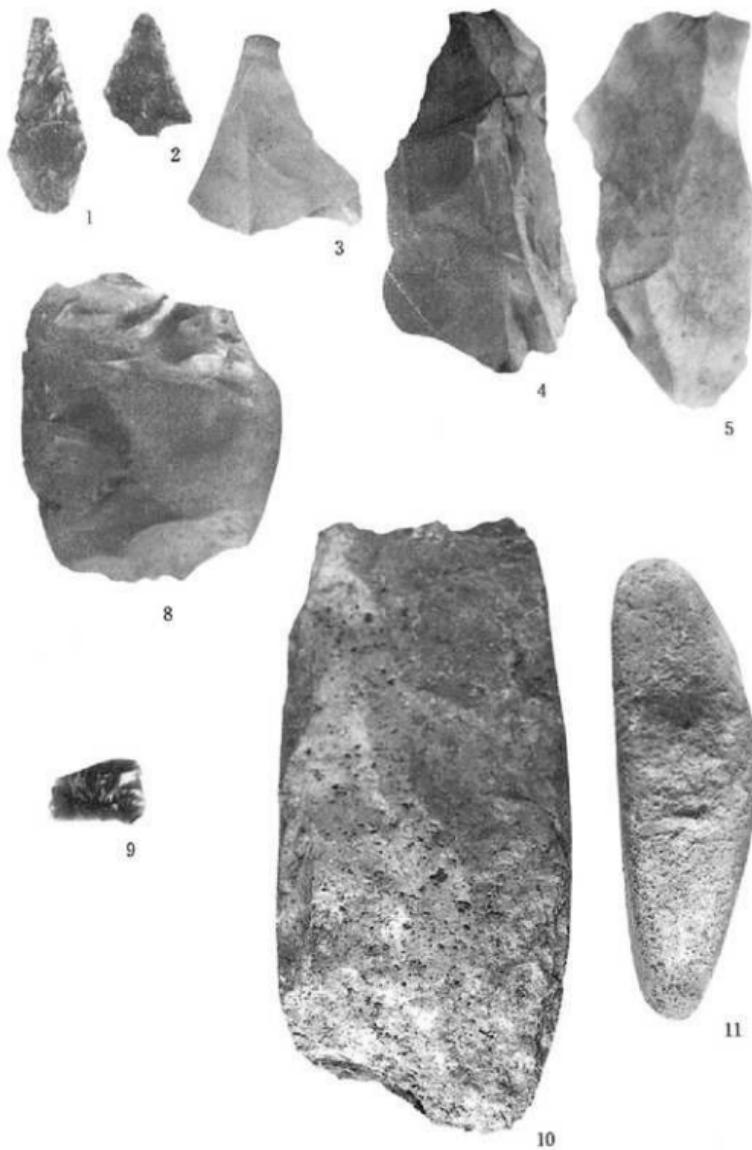


湯舟(2)作業風景

図版 2



圖版3 遺構外出土遺物 土器



図版4 遺構外出土遺物 石器

報告書抄録

ふりがな	ゆふね 1 2 いせき						
書名	湯舟(1)・(2)遺跡						
副書名							
巻次							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第175集						
著者名	青森一朗・斎藤岳						
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター						
所在地	〒038 青森市大字新城字天田内152-15 TEL 0177-88-5701						
発行年月日	西暦1995年3月31日						
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
湯舟(1)	青森県西津軽郡 ケ沢町大字湯舟町 字若山197外	02321	15047	40° 45° 33°	140° 17° 6°	19930705 19930831	津軽中部広域農道建設に係る埋蔵文化財発掘調査
湯舟(2)	青森県西津軽郡 ケ沢町大字湯舟町 字若山1220外	02321	15048	40° 45° 18°	140° 17° 34°	19930720 19930831	津軽中部広域農道建設に係る埋蔵文化財発掘調査
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
湯舟(1)	縄文時代	土坑 上器埋設構 炭化物土坑 道路状遺構	3基 1基 1基	縄文土器 炭化物 弥生土器 石器			
湯舟(2)	縄文時代	—	—	縄文土器			

青森県埋蔵文化財調査報告書 第175集

湯舟(1)・(2)遺跡発掘調査報告書

—県営津軽中部地区広域農道整備事業に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書—

発行年月日 平成7年3月31日
 発 行 青森県教育委員会
 編 集 青森県埋蔵文化財調査センター
 〒038 青森市大字新城字天田内152-15
 TEL 0177-88-5701
 印 刷 所 東北印刷工業株式会社
 〒030 青森市合浦一丁目2-12
 TEL 0177-42-2221

